

平成25年度 VUV・SX高輝度光源利用者懇談会第一回幹事会議事録

日時：平成26年1月27日（月）14：00～16：15

会場：東京大学物性研究所 6階 A614

出席者：小森文夫(会長、東大物性研) 雨宮健太(KEK) 奥田太一(広島大) 尾嶋正治(東大)
組頭広志(KEK) 近藤寛(慶応大) 大門寛(奈良先端大) 吉信淳(東大物性研)

オブザーバー：辛埴(東大物性研) 松田巖(東大物性研) 原田慈久(東大物性研) 和達大樹(東大物性研)

【配布資料】

- ・議事次第
- ・平成25年度総会議事録(案)
- ・平成26年Aアウトステーション課題申請一覧
- ・つくば分室の現状報告
- ・E棟概略図
- ・VUV・SX高輝度光源利用者懇談会細則抜粋

報告・議事

1. 総会議事録の承認

平成25年度総会議事録が承認された。

2. 物性研究所放射光施設について

辛埴 軌道放射物性研究施設長より、つくば分室の状況と今年度末の共同利用実験停止、その後の実験計画について説明がなされた。

3. アウトステーション現状報告

松田巖 物性研究所軌道放射物性研究施設准教授より、円偏光性能を中心にアウトステーションビームラインの現状報告がなされた。

4. SPring-8 共同利用状況について

原田慈久物性研究所軌道放射物性研究施設准教授より、SPring-8共同利用状況について以下の報告がなされた。

- ・今年度の共同利用実験課題の傾向
- ・各実験ステーションでの研究成果と将来展望
- ・アウトステーション報告会開催予定(平成26年2月19日(水)、東大物性研)
「東京大学アウトステーション(SPring-8 BL07LSU)の現状と第II期への展望」

- ・物性研究所短期研究会開催予定（平成26年6月初旬、東大物性研）
「真空紫外・軟X線放射光物性研究のパラダイムシフトに向けて」

5. アウトステーション課題審査について

小森 会長より、アウトステーション平成 26 年 A 期課題審査結果の報告が行われた。
旅費支給者の増員の希望があり、物性研究所の共同利用旅費について検討することにした。

6. 会長・幹事選挙

次期会長候補として近藤寛氏（慶應義塾大学教授）が推薦された。また、小森会長より選挙管理委員として、松田巖氏、原田慈久氏、和達大樹氏（以上、東大物性研究所）が指名され、承認された。今後、次期会長の信任投票・幹事選挙が、選挙管理委員により今年度末までに以下の予定で執り行われる。

- ・1/27 幹事会 次期会長推薦
- ・2/月上旬～中旬 会長選挙と幹事予備選挙のお知らせ&投票用紙および中型高輝度放射光源計画に提案するビームラインに関するアンケートを郵送。
 - ・上記（会長選挙と幹事予備選挙）締切 2/26
 - ・2/27 13：30 上記開票（当日午前の郵便まで有効）
 - ・3/月上旬 会長選挙結果、幹事予備選挙結果&本選挙のお知らせを郵送
 - ・3/17 上記（幹事本選挙）締切
 - ・3/18 13：30 上記開票（当日午前の郵便まで有効）

また、前回の選挙管理委員の提案を受け、懇談会会則を以下の通り改定する。

第 2 章 会長および幹事

第 6 条 会則第 11 条の会長および幹事の選出

三. 次期幹事の選出は、選挙管理委員会の管理のもとに、正会員による選挙により正会員の中から選出される。以下を特記事項とする。

1. 東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設職員は、被選挙権を有さない。
2. 得票数が同じ場合は年齢が高い順とする。
3. 予備選挙として、各正会員が15名推薦し、**5票**以上の推薦票が集まった候補者から本選挙を行う。**但し、候補者数が定員に満たない場合は、推薦票数を4票、または、3票とする。**

7. 全体討論

中型高輝度放射光源計画および来年度研究会について議論を行った。

懇談会会員に、今後中型高輝度放射光源を利用して行うべき研究についてアンケートを実施し、来年度の物性研究所短期研究会にて、懇談会からのビームライン提案をまとめる方針と

した。

(議事録 事務局)